


■ 幼児教育コラム 2023.5.13掲載

5段4分の1 (天地168mm×左右94mm)/モノクロ

広告

幼児教育のプロによる特別コラムシリーズ

# すくすく子育て Q&Aが始まります!



## 地域のニーズを捉えた 子育て支援策を

福島民友新聞社 営業局営業部部長  
(一財)福島県幼児教育振興財団 広報委員会委員長

### 斎藤 秀人

5月8日、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行しました。私の住む福島市内の小学校では運動会の最盛期を迎えています。小学生の子を持つ親として、今年こそは、マスクを外した多くの児童と保護者の笑顔があふれる運動会になることを願います。

ポストコロナに期待が高まる一方で、少子化問題が深刻です。政府は少子化を最重要課題に掲げ「こども家庭庁」を創設。今後の子育て支援策に注目が集まっています。今年2月に福島市私立幼稚園協会が市内の保護者らを対象に実施したアンケートでは、一番必要だと思う子育て支援策について「現金給付」(51.7%)と答えた保護者が最も多く、次いで「子育て支援サービス」(34.3%)、「現物支給」(14.0%)と続きました。求められる子育て支援策は、家庭環境や地域性などによって多種多様です。行政には、地域ごとの子育て世帯のニーズを捉えた柔軟な支援策が望まれます。

さて、福島県幼児教育振興財団のコラムシリーズ「すくすく子育てQ&A」が始まります。皆さんから寄せられた子育ての疑問や悩みに、財団に所属する幼稚園の先生方がプロの目線でお答えします。私自身も、正解のない子育てに試行錯誤中です。是非一緒に学びましょう!

**子育て・幼児教育に関する質問やご意見を募集します!**

※寄せられた内容は、コラムテーマや今後の当財団の活動の参考にさせていただきます

質問やご意見は  
コチラから!

うつくしま 教育と子育ての“森”づくり  
一般財団法人 **福島県幼児教育振興財団**  
理事長 岩城 光英  
事務局 / 福島市飯坂町平野字東原4-10  
TEL024-542-9321 FAX024-542-9319

